



アスリート委員会の紹介と活動報告

アスリート委員会とは

- スポーツ庁より、中央競技団体（アーチェリーの場合は全ア連）が適切な組織運営を行うために策定した『スポーツ団体ガバナンスコードの原則2』の中に、

③ アスリート委員会を設置し、その意見を組織運営に反映させるための具体的な方策を講じること

と定められている。そのことから、

アスリート委員会は
全日本アーチェリー連盟が適切な組織運営を行うために必要な委員会であり、
そのための意見を提言する委員会である！

- 全ア連としてのアスリート委員会のコンセプト

1. プロ野球やリーグにみられる**労使関係**ではなく、**協力関係**

※交渉によって条件を引き出すのではなく意見を提言し協力して実現していく関係

2. トップ選手ならでの立場からアーチェリー界に寄与できる方法の模索



アスリート委員会が担う役割

- 全ア連のアスリート委員会規定第2条で定められた

「アスリートの育成並びにアーチェリー競技の普及発展に寄与することを目的とする。」（抜粋）

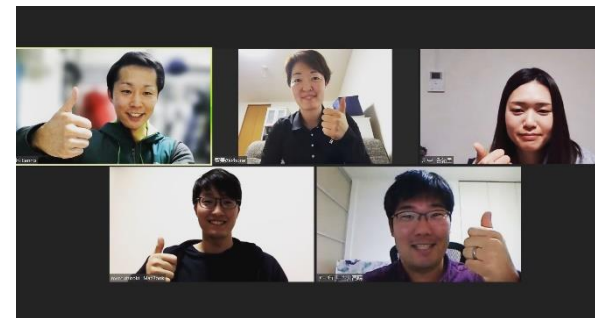
を達成するために右の内容の活動をしている。



1. アンチドーピングの教育や啓発に関すること
2. 育成選手の役割の拡大に関すること
3. オリンピック・ムーブメントを初め、アーチェリーやスポーツに関わる教育に関すること
4. アーチェリーの普及、特にジュニアへの普及に関すること
5. 国際交流に関すること
6. 社会貢献に関すること
7. 社会に於けるロールモデルとしての選手の役割に関すること
8. 環境問題に関わること
9. JOCアスリート委員会との連携に関すること
10. その他、選手に直接関係する事項

活動の具体例

社会貢献	教育、普及活動	その他
募金事業や清掃活動など 社会貢献事業の立案、実施	アンチドーピングの啓発事業やアー チェリー教室の派遣選手の選定、依頼	選手にアンケートを実施し 連盟への要望の具申
ピンクリボンキャンペーンを実施し、現 役選手委員が自ら呼びかけて募金を 募った	連盟と選定基準などを確認し、選手と はスケジュールを調整しながら候補者 を選出	普及、強化、広報などについて幅広く 意見を伝えた
集めた募金はがん研究会を訪れ、直接 手渡して寄付した	選出された選手が各イベントに参加し、 成功裏に終わった	SNSの活用やホームページのリニュー アルなど、複数の意見が取り入れられ 現在も複数の企画が進行中である



今後のアスリート委員会のために

- より選手の求める活動にしていくために、アスリート委員会に期待する活動やアイデアを広く集めたい
- アスリート委員会のコンセプトと役割を踏まえて、アーチェリー界がより良くなるアイデアを募集します！

